

※面積は目安であり提案による。

また、居室を1つずつ確保する必要はなく、1つの居室で他の用途もシェアできるものはシェアすることが望ましい。

■義務教育学校ゾーン(学校管理)

室名			部屋数	規模	地域との併用	設置条件
教室	前期：4 (小1～4)	普通教室	4	60㎡以上		・ 前期、中期、後期ごとにまとまりをもたせる ・ OSや廊下との間は、壁やガラスで仕切る ・ 室内に手洗い設置 ・ オープンスペースとあわせて掲示スペースがたくさんあるといい ・ 教室内外に多様なスペースがあるといい
		オープンスペース	4	適宜	△	・ 活動に応じて柔軟に活用できるスペースとする ・ 場所をかえて授業をしたり、展示などを使ってアクティブラーニング型の授業が実施できるといい ・ 現段階で黒板の電子化の想定はない
	中期：3 (小5～中1)	普通教室	3	60㎡以上		同上
		オープンスペース	3	適宜	△	同上
	後期：2 (中2～3)	普通教室	2	60㎡以上		同上
		オープンスペース	2	適宜	△	同上
	特別支援教室		7	30㎡以上		・ 小学校3学級、中学校3学級、予備に1学級 ・ 普通教室に隣接していると使いやすい ・ 小学校低学年児利用を想定した教室には、小上がり、トイレ、シャワーがあるといい
特別教室		多目的室	2以上	64㎡程度	△	・ 地域共有ゾーンでも可
		理科室	2	100㎡程度	△	・ 準備室含む
学校関係諸室		放送室	1	30㎡程度	△	・ 地域共有ゾーンでも可
		生徒会室	1	30㎡程度	△	・ 地域共有ゾーンでも可
		教材室	※適宜	※適宜		・ 各階に設置
ランチルーム			1	適宜	○	・ 将来的に全校生徒約100人が一緒に給食を食べられるようにする。 ・ 開校時は各教室での給食からスタートし、試験的に月1回程度の頻度で、全校生徒約100人全員で食べられるようにする。 ・ 将来的に全校生徒約100人が一緒に給食を食べられるようにする際には、調理室が併設していると望ましい。その際は給食センターを新築することも検討している。1日の食数は125食を想定。 ・ 運用方法に検討が必要だが将来的には地域の人たちも利用できると望ましい。

■地域及び学校共用ゾーン(町管理)

室名		部屋数	規模	地域との併用	設置条件
特別教室	音楽室	1	100㎡	○	準備室含む
	美術室兼図工室	1	100㎡	○	準備室含む
	木工室（技術室）	1	100㎡	○	準備室含む
	家庭科室	—	—	—	※各教室で実施する
	調理室	1	96㎡程度	○	準備室含む
	外国語室	1	100㎡	○	・ 準備室含む ・ 英語は、普通の授業と異なった雰囲気の中で、「ここに来ると楽しい勉強ができるんだ。」と思えるような環境で勉強できるようにしたい。 ・ 学年や授業内容によって授業の場所をオープンスペースを活用したり、英語教室で勉強できたり柔軟に活用出来たらうれしい
運動場	体育館	1	※既存	○	義務教育学校では既存小学校体育館を利用する。平面的な広さは義務教育学校で使用可能なので、リングの高さなど中学生も使えるよう必要最低限の改修をする

■社会教育ゾーン(町管理)

室名		部屋数	規模	学校との併用	設置条件
図書ゾーン ※学校図書室も兼ねる	町立図書館及び学校図書室	1	1000㎡	○	・学校図書だけなら300㎡程度 ・本を中心とした学びや交流の場 ・蔵書数は検討中
	スタジオ（視聴覚室）	1	96㎡程度	○	・コンピュータ室は不要。視聴覚室は、図書室と一体的に活用できる。例えば国内外の学校とオンラインでつないで共同授業を行うなど、コンピュータで音響や映像を調整できるようなスタジオ機能を持つ
社会教育	多目的ホール		※既存	○	※町民センターホールを活用 ・文化行事による活用を基本とする。 ・可動客席（200席程度）を設置する
	ロビー・ラウンジ等		※適宜	○	
	カフェスペース	1	※適宜	○	・30席程度を想定 ・町内障害者施設の就労支援カフェとして検討 ・軽食と飲み物を提供、あたため等の簡単な調理ができるようにする
	発達支援・放課後デイサービス	1	50㎡	○	利用者5名程度を想定。
	学童スペース（こどもプラン）	1	100㎡	○	・利用児童55名。 ・多目的ホール、ロビー、カフェスペース、図書室なども活用する
	子育てルーム	1	50㎡	○	・乳幼児と親の居場所 ・小上がりのような場所でも可
	授乳スペース	1	15㎡	○	・他の部屋との兼用可
	なかとん学習塾	1	200㎡	○	・中期30人、後期20人、高校生20人 ・稼働間仕切りで2分割できるようにする ・集会室や自習スペースとしても活用できる
	音楽スタジオ	1	100㎡	○	・楽器を演奏できるようにする ・学校の音楽の授業で利用することもある
	研修室兼会議室	3	50～150㎡	○	・既存施設を活用しながら計画
	トレーニングルーム	1	200㎡	○	・大人だけでなく、中高生も使えるようにする ・ランニング、エアロバイク、筋力など機械で簡単なトレーニングができる ・多目的WCや会議室などで着替えができる ・手洗いができる水栓がある
	サークル室（陶芸）	1	50㎡	○	・窯の設置
	サークル室（和室）	1	50㎡	○	・茶道ができるようにする ・使用頻度は高くないので他の諸室との兼用可
	会議室小	1	30㎡	○	・他の諸室との兼用可
	会議室中	1	50㎡	○	・他の諸室との兼用可
	会議室大	1	100㎡	○	・他の諸室との兼用可
管理	教育委員会事務所	1	50㎡		・9人 ・地域及び学校共用ゾーン、社会教育施設を管理も行う
	防災倉庫	1	30㎡	○	
	WC	※適宜	※適宜	○	・バリアフリーに配慮する

■給食室

室名		部屋数	規模	地域との併用	設置条件
	給食センター		※既存		※既存を活用 ・渡り廊下の設置など校舎との搬出入をしやすいようにする

■学校管理ゾーン(学校管理)

室名		部屋数	規模	地域との併用	設置条件
共通空間	玄関	1			・玄関に冬季のスノーブーツ、コート掛けを設置
	トイレ	適宜			・バリアフリーに配慮する
	水場	適宜			・手洗い及び水飲み場の設置
	昇降機	1台			・給食を配膳できるようにする
	廊下・階段	適宜			
学校関係諸室	相談室	1	32㎡程度		・大人と子どもがリラックスして話せるよう、対面して話すのではなく、ソファを配置したり、窓の外がみれるなど配慮する
管理関係諸室	理事長室	1	32㎡程度		
	校長室	1	32㎡程度		
	学校職員室	1	※適宜		・教職員33人 ・義務教育学校では職員の連携が鍵となるため、職員同士がコミュニケーションを図りやすい執務空間となるよう配慮する ・ハザードマップを考慮して2階以上に設置
	保健室	1	100㎡		・傷口を洗う、濡れた衣服の着替え等に対応できるよう保健室にトイレ、シャワーがついていると助かる。
	会議室	2	25㎡・50㎡		
	応接室	1	25㎡		
	職員用更衣室	2	25㎡		・男性1、女性1
	職員用休憩室	1	25㎡		・職員室内にゾーンとして確保してもよい
	倉庫	※適宜	※適宜		
	設備電気室	※適宜	※適宜		※ハザードマップを考慮